

2022年度 FD 活動報告書

◆教育学部◆

春学期は「研究演習および卒業研究指導の質保証」をテーマに7月13日に開催した。FD委員の尽力により、教育学部全教員を対象に、担当するゼミの運営の満足度、ゼミの最適規模、ゼミの進め方や課外活動の具体例と設定理由、ゼミ運営における工夫、二年間の学習プロセスの組み立て、ゼミ運営における困難、卒論指導の開始時期や方法、評価、さらに、研究演習および卒業研究の質保証に関する意見を事前アンケートによって収集、共有した上で当日はグループ協議を行った。ゼミの人数や、ゼミ選択における課題、教育学部特有の教員、保育士免許取得に必要な科目や教育実習、施設実習等の学外実習の多さ(特に三回生秋学期)、教育・保育職への進路希望者とそれ以外の学生の関心の違いなどを再確認し、継続的な改善模索に取り組む必要性が共有された。秋学期は「討論中心の大人数授業の試み-PostalkとZoomを使った反転授業-」とのテーマで1名の学部教員による講演形式で実施した。100名を超える人数の授業においてPostalkを活用して受講生の積極的な発言を促して授業の質を高めた実際の授業展開を体験的に共有した。事前課題の提示をもとにして、受講生による予習をふまえた発言を集約しながら授業が展開される様子が紹介された。Zoomを利用したオンライン形式での授業としての例示であったが、対面形式への応用などについても話題となった。今後も継続的に学修の質向上に向けて協議を重ねたい。

◆教職教育研究センター◆

本年度は2回のFD研修会を行った。第1回は7月12日(火)に「自己点検・評価を踏まえた教育改善に向けて」というテーマで、今年度から義務化された教職課程における自己点検・評価の報告書作成に向け、自己点検評価基準を確認するとともに、それらの基準に該当する本学の取り組みに関する意見交換を行うとともに、報告書作成の進め方について議論した。第2回は12月16日(金)に「授業実践報告および本学教職課程の現状」というテーマで、非常勤講師や教務担当副学部長の参加も得て行った。授業実践報告を受け、教育の場を通して本学の理念を実践できる「関学らしい教員」の育成や教職基礎科目のあり方等について理解を深めるとともに、本学教職課程の現状についてデータを基に共有し、今後の授業改善等に向けて意見交換をすることができた。なお、以上の研修会のほかにも、センター連絡会の機会を利用し、専任教員を対象に研究倫理教育・コンプライアンス教育およびシラバス改善、教育の質の向上に向けたICTの活用等について情報共有と懇談を行うとともに、自己点検・評価について継続的に情報共有と検討を行った。